

第1回広島都市圏バス活性化推進会議の開催概要について

1 日時

平成25年11月27日（水） 10:00～12:00

2 場所

広島市役所本庁舎14階 第7会議室

3 出席者

委員17名中16名出席

4 主な会議内容

広島都市圏の公共交通及びバス交通の現状と課題について

（説明資料の概要は、次ページ参照）

5 委員からの主な意見

(1) 推進会議全般に関する意見

ア 今回の取組は、行政が間に入り事業者相互間の役割分担やルールの見直しをしようとするものであり、実効性のあるものになることを期待している。

イ 広島市の人口が減少する前のタイミングで議論するのは有意義であり、事業者も利用者も前向きな議論をして結果を出していきたい。

ウ 利用者にとっての課題と事業者・行政にとっての課題は違うと思う。利用者目線、ミクロの視点で議論したい。

エ 生活者と観光客では課題が違うと思う。誰にとって何が課題でどう解決したいのかを明確にしながらか進めてもらいたい。

オ 法律や制度など、バスを取り巻く環境がずいぶん変わっており、「千載一遇」のチャンスである。

(2) バス活性化策に関する意見

ア 都心部において、同じ名称のバス停が複数あり分かりにくい問題は、以前から指摘されているが解決されていない。こうした問題がひとつでも解決につながるよう期待している。

イ バス停、乗継、料金の問題などは、バス利用者にとっては、とても大事な話である。

ウ 商業施設利用の運賃割引を含む全体的な都市圏のシステムが必要であり、行政と交通事業者だけでなく利用者も関わっていきたい。

エ 交通需要は今後も見込めるため、工夫すれば絶対に公共交通は増やせると思う。事業者同士でタッグを組んで綿密にマーケティングをやり、公共交通の利用促進に取り組んでいるドイツが参考になる。

オ 広島バスセンターなどのターミナルにおけるバス間の乗り継ぎについても取り上げて議論してはどうか。

カ ライフスタイルに合わせた情報の提供などのソフト施策も検討していく必要がある。

説明資料の概要「バスの機能別・地域別分類の考え方及び課題の整理」（詳細は別冊2参照）

バスの機能別分類の考え方

基幹バス

- 都心と拠点地区、拠点地区を相互に結ぶ、軌道系に準ずるような基幹的な路線
(ただし、人口集積があって鉄軌道のない地域を運行する路線は、基幹バスに含める)

補完バス

- デルタ外縁部の各地域、鉄軌道駅から都心へのアクセス(都心アクセス)
- 郊外部の各地域、団地等から近隣ターミナル、軌道系・基幹バスへのアクセス(郊外部アクセス)

地域バス

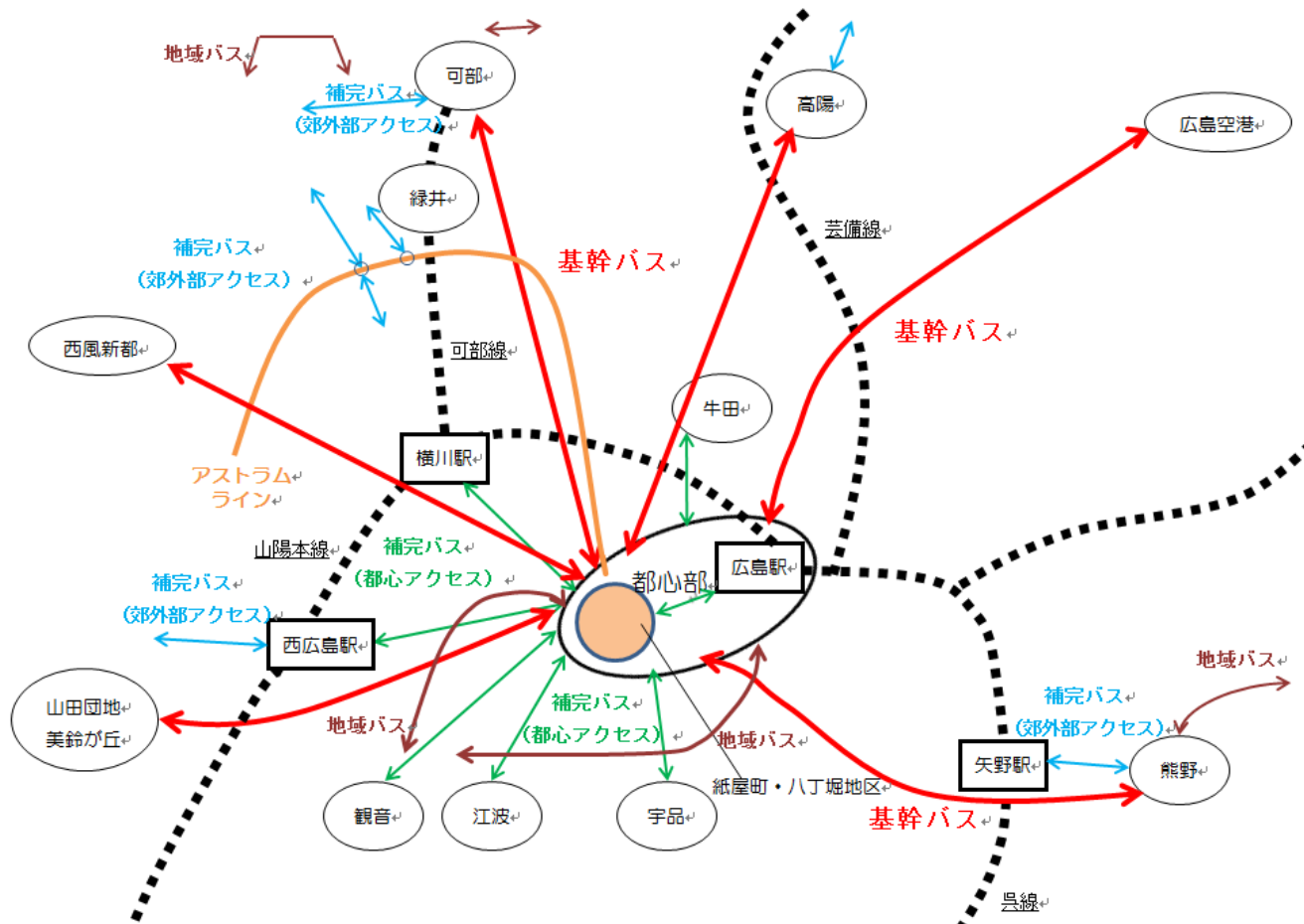
- 軌道系、基幹バス、補完バスではカバーできない地域などにおける路線(乗合タクシーを含む)

バスの地域別分類の考え方

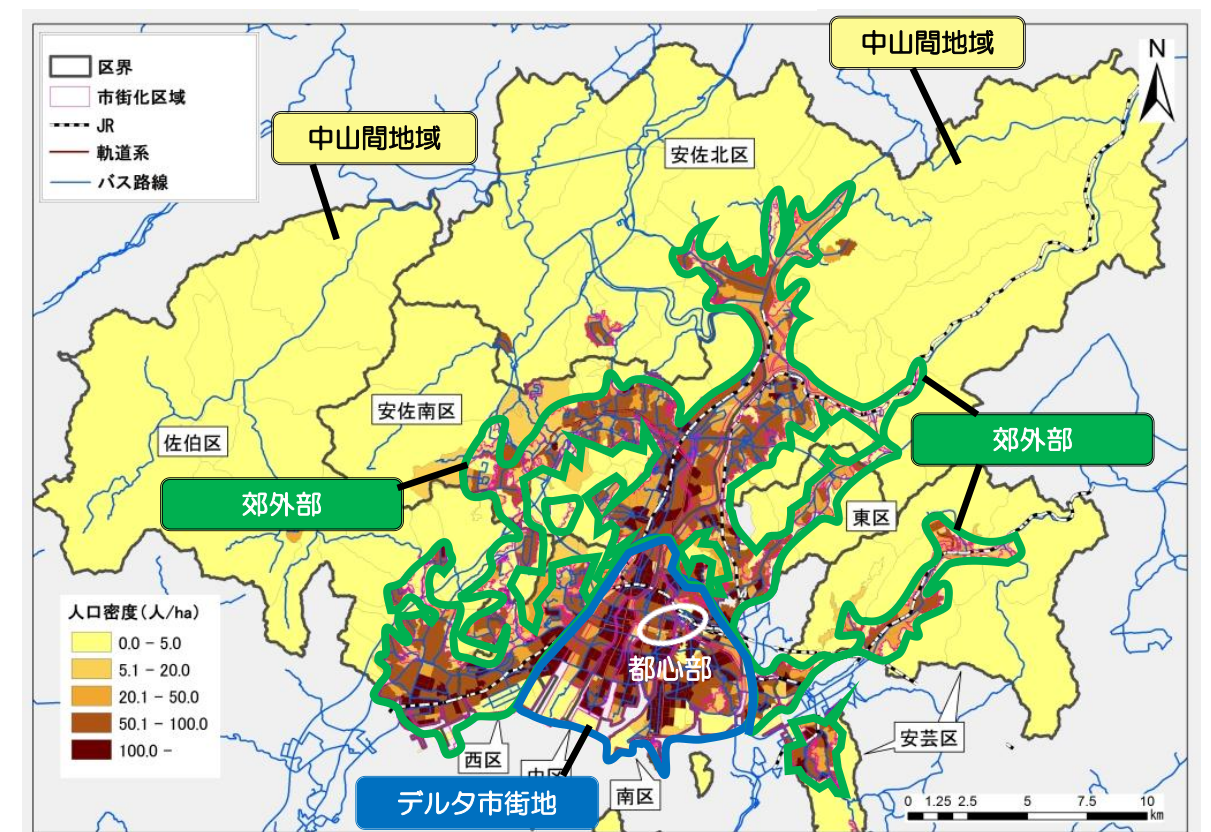
都市圏における各地域の特性を踏まえ、地域別の分類を次のとおり整理した。

地域 \ バス機能	基幹バス	補完バス	地域バス
都市全体	○	○	○
都心		○	○
デルタ市街地		○	○
郊外部		○	○
中山間地域			○

バス機能別分類イメージ図



市内における地域別分類



注1：人口密度は平成22年度国勢調査結果による。

注2：郊外部は、人口密度の比較的高い丘陵地の団地等、中山間地域は、人口密度の低い谷沿いを中心とした地域に区分している。

バス交通の課題の整理

【都市全体】

○ バス交通全体の活性化

基幹バス

補完バス

地域バス

他の公共交通機関との役割分担を踏まえつつ、バスの機能別、地域別に応じた取組を推進することにより、バス全体の活性化を図っていく必要

○ 安心して利用しやすい環境に向けた取組の推進

基幹バス

補完バス

地域バス

利用しやすい運賃制度、割引制度の拡充、高齢社会に対応したバリアフリー化、災害時に活用でき、利用者にとっても分かりやすいバス情報の提供など、安心して利用しやすい環境に向けた取組を推進していく必要

○ 基幹バスの充実・強化、利便性の向上

基幹バス

軌道系サービスが行き届いてない地域と都心部を結ぶ基幹バスについて、必要に応じて路線の新設、急行便の導入・増便、PTPS導入による定時性・速達性の確保などに取り組む必要

【都心】

○ 都心アクセス性の向上

補完バス

バス交通がアクセス性向上に有効な路線を中心に、デルタ周辺の交通拠点と都心を連結するバス路線の充実・強化を図る必要

○ 過密化の解消と分かりやすく利用しやすい路線への再編

補完バス

地域バス

紙屋町・八丁堀地区に集中する路線の再編・効率化や必要に応じたバス停の集約・再配置などを図り、分かりやすく利用しやすいバスネットワークを構築していく必要

【デルタ市街地】

○ バスサービスの十分でない地域の解消

補完バス

地域バス

都心の過密の解消による余剰車両を、十分なサービスが提供されていない他路線の増便に活用することなどにより、利便性の向上を図る必要

○ デルタ周辺部の交通拠点の強化

補完バス

地域バス

必要に応じ、駅前広場の再整備などにより、バスと他の公共交通機関との乗継利便性を図る必要

【郊外部】

○ 基幹交通ネットワークへのアクセス向上

基幹バス

補完バス

人口がある程度集積している団地から鉄軌道駅へのアクセスなどについて、ダイヤ編成の工夫や乗継割引の拡充などにより、乗継利便性の向上を図る必要

○ 高齢化の進展に対応した生活交通の確保

地域バス

高齢化が進んだ団地等における生活交通としてのバス路線の維持・確保が必要

【中山間地域】

○ 人口流出が進む地域における生活交通の確保

地域バス

中山間地域の生活交通について、バスだけでなく乗合タクシーなどを含めた様々な形態により生活交通の維持・確保が必要



これらの課題の解決のためには、
○ 行政・交通事業者の連携
○ 行政が間に入って、事業者間相互の役割分担の
ルールを構築し、利用しやすい路線再編・運賃
制度等を実現するための体制づくり
が必要